

▶ 第18章

東アジア情勢とリスク・コミュニケーション

上海交通大学教授 日本研究センター長
季衛東

【ポイント】

- ▶ 東アジアの国際情勢は日米軍事同盟と中日経済依存の対立構図を背景としながら多数の三角関係がネットワークを構築し、混沌が生じている。相互の無理解もあり、対立、紛争、秩序崩壊のリスクに直面せざるをえない。
- ▶ 情勢の複雑性を縮減する方法を検討する必要がある、国際法秩序の規則遵守は1つの方法だ。グローバルな法体制を基礎にした方が同盟を軸にするよりメリットが多い。経済の共同利益も情勢の複雑性の縮減に効果があるが、「価値同盟」の外交路線はリスクが大きい。
- ▶ 過剰防衛の悪循環を打ち切るリスク・コミュニケーションはリスク意識が強いほど合意形成が困難になる逆説で、危険を管理下に置く体制を事前に作る方が効果的だ。多元的外交の知恵も信頼増進に有益で、安全保障も非伝統的な視座から再認識しなければならない。近隣諸国は一種の運命共同体で、相互依存、相互扶助、相互信頼をリスク・コミュニケーションの基調とすべきだ。



注目データ

